

《担当者名》 沖野久美子

【概要】

超音波検査には術者の知識と技術が重要となると考える。様々な疾患に対して日常臨床に多く用いられるため、対応するための基本的な技術を習得する。これまでの講義（画像検査学）で習得した超音波検査の操作方法と画像解析の知識をもとにより高度な判断力と多角的な臨床評価ができる力を養う。超音波検査においてさらに踏み込んだ知識を得るために、研究テーマを決め超音波を用いた診断や、検査方法、超音波の原理について研究していく。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

(DP6) 臨床検査学領域における様々な問題や研究課題に対し、解決に向けた情報の適切な分析、科学的思考と的確な判断ができる能力を身につけている。